

【ビジネスセミナー】 ミンダナオ主要都市に関するビジネスセミナー(フィリピン・ダバオ)

開催日: 令和元年10月2日(水)~4日(金)

場 所: ダバオ市内マルコ・ポーロホテル

共催・協力自治体: 在ダバオ総領事館、ダバオ市投資促進委員会(DCIPC)、カガヤン・デ・オロ市、タグム市、ブトゥアン市、ジェネラル・サントス市、サンボアング市

協力・参加企業: トヨタ、日産、日野自動車、ヤクルト、KDDI、キャノン、パックウェル、パナソニック、ヤカダ・テクノロジー、本田、富士通、共和加工、兼松商事、JTB、NEXCO、南国殖産、セルフル、サステナ(セミナー出席者は上記以外の企業関係者を含む)

在ダバオ総領事館



セミナーの概況



ダバオ市商工会議所によるプレゼン



パネル・ディスカッション

【概要】

● 10月4日より、日本企業関係者約70名、地元経済関係者約70名の他、ミンダナオ主要都市関係者等の参加を得て3日間に亘り開催。日本文化、日本食、日本企業を紹介する大規模事業と同時期に実施。報道機関の注目も集めた。

● セミナー初日は、ドゥテルテ大統領の出身地として日本企業の間でも注目を集めているダバオ地域のビジネス事情、2日目は現政権下で開発が進められている主要都市の状況を説明。3日目はダバオ地域の工業団地や日本企業等の視察の機会を設けた。また、当地で活動する日本企業によるプレゼンテーションの機会を設けた。

● セミナー期間中には、共催都市によるレセプションや昼食会を実施。また、地元企業とのバイの関係構築をセッションを設けることで、参加日本企業の人脈構築を支援。

● ダバオ地域はドゥテルテ大統領が長年に亘り市長を務めた「お膝元」であり、毎年10%近い成長を遂げている。また、ミンダナオの他の主要都市も、現政権下でインフラ開発計画が進み、中国の進出も目立つ。日本企業関係者の関心も高まっている一方、ダバオ市は「危険度1」であるものの、「ミンダナオは危険」とのイメージが強いため、出張視察の敷居が高い。今回のダバオ市及び他の主要都市にとり、多数の日本企業関係者を集めたセミナーの実施は初めてのことであった。